

卒業生が活躍しています！



去る10月14日に、本学で開催された学術フォーラムで長谷川香さん（平成29年3月卒）が「手術室看護職の災害に対する意識・知識の向上と手術室防災マニュアルの見直し」をテーマに発表されました。

先行研究を基に独自に職場で作成された災害に対する意識・知識アンケートを実施され、調査結果を基に分析されたが、手術室経験年数の違いによる回答の差がみられなかったことや勉強会を開く前は無回答や誤答が多いことから問題意識が芽

生えたという。そこで、定期的に勉強会を開催し、資料の説明だけに終わらず、非常袋の定期点検なども含めて実演したことで効果的な結果が生まれ、また、先行研究では実演しても3週間で忘れるということから、2週間ごとに勉強会は実施され対応。一方、独自の行動基準カードを麻酔医や外科医等、それぞれの部署のリーダーが災害緊急時の判断基準についてのマニュアルを作成することを通して、全スタッフの危機意識が向上していると報告されました。

日本では世界的にみても阪神大地震や東北大震災など災害が多く、いつ、何が起こってもおかしくありません。したがって被害を最小限にするために、個々の動きを明確にする災害想定シミュレーションを取り入れた訓練を行うことは重要なことです。



長谷川さんの発表を通して、他人事ではなく改めて危機意識を強くもつことが大切だと思いました。ありがとうございました。

最後に、長谷川さんのご勤務されている病院は入院期間が短く、手術件数も多い。そのなかで、長谷川さんは、毎日21時頃まで勤務されているそうです。そういうなかで、きめ細かな仕事をされ研究内容もパワーポイントを使いながらの発表態度も堂々と素晴らしいものでした。本課程の卒業生として誇らしく感じました。今後も、健康に留意され、ますますのご活躍をお祈りします。